



第60回
日本理学療法学術大会

本学術大会は、第60回日本理学療法学術大会
の1つとして開催されます。



第9回日本循環器 理学療法学会学術大会

The 9th Congress of Japanese Society of Cardiovascular Physical Therapy

循環器理学療法の 織りなすミライ

ポケットプログラム

【会期】

2025年

12/13(土)-14(日)

【会場】

ウインクあいち

(愛知県産業労働センター)

【大会長】

飯田 有輝

(愛知淑徳大学)

【副大会長】

花田 智

(都城市郡医師会病院)

【準備委員長】

河野 裕治

(藤田医科大学病院)

Moving
Forward

【大会事務局】藤田医科大学病院リハビリテーション部内

【運営事務局】株式会社コムラ

〒501-2517 岐阜県岐阜市三輪ぶりんとびあ3

MAIL: jscvpt_09@kohmura.co.jp

TEL : 058-229-5858 FAX: 058-229-6001

CaTe inc.

CONNECTING HEALTHCARE, CREATING A BETTER TOMORROW

すべての人がテクノロジーの力で、
より良い医療を受けられる世界を実現します。



運動療法



食事療法



服薬指導



自己管理



遠隔指導



患者教育

株式会社CaTeは、遠隔心臓リハビリに用いる心臓リハビリプログラム、医療機器の社会実装を目指し、米国創生テクノロジーズ（スパークス・アセット・マネジメント株式会社）、みずほキャピタル株式会社をリード投資家として総額15億8千万円の資金調達を実施しました。創立以来の累計調達額は22億円となり、研究費1.9億円を含めた23.9億円を活用して、心臓リハビリプログラム医療機器の研究開発を推進しています。

代表取締役 寺崎一裕（藤田医科大学）



協賛企業一覧

アボットメディカルジャパン合同会社
アルケア株式会社
インターリハ株式会社
オムロン ヘルスケア株式会社
株式会社インボディ・ジャパン
株式会社エントリージャパン
株式会社グッドケア
株式会社グレースイメージング
株式会社フェロー
株式会社ホーマーイオン研究所
株式会社松本義肢製作所
株式会社メテオ
株式会社メディカ出版
株式会社リモハブ
株式会社 CaTe
株式会社 gene
株式会社 Health Link
株式会社 MTG
株式会社 walkey
旭光物産株式会社
Japan Heart Club
南波製作所
パラマウントベッド株式会社
三菱電機エンジニアリング株式会社
ミナト医科学株式会社
森永乳業クリニコ株式会社
Fisher & Paykel Healthcare 株式会社

寄付

和田郁雄（愛知淑徳大学）

第9回日本循環器理学療法学会学術大会

The 9th annual meeting of the Japanese Society of Cardiovascular Physical Therapy

会期 2025年12月13日（土）～14日（日）

会場 ウインクあいち

大会長 飯田有輝
愛知淑徳大学健康医療科学部医療貢献学科理学療法学専攻教授

事務局 藤田医科大学病院リハビリテーション部
〒460-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98

目次

ご挨拶

日程表

会場へのアクセス

会場のご案内

参加者の皆様へ

口演発表

座長・演者の皆様へ

ポスター発表

座長・演者の皆様へ

プログラム

ご挨拶



第9回日本循環器理学療法学会学術大会
大会長 飯田 有輝
愛知淑徳大学健康医療科学部医療貢献学科理学療法学専攻 教授

第9回日本循環器理学療法学会学術大会を「循環器理学療法の織りなすミライ」というテーマで開催いたします。

現代社会において循環器疾患は予後やQOLを悪化せしめる主要な健康問題のひとつです。超高齢社会である本邦では、既存のガイドライン遵守で対応できないフレイルや多疾患併存を合併した患者が多数存在しています。また健康寿命の延伸は国の基本政策であり、理学療法の重要性はますます高まると共に新たな理学療法の在り方が求められています。コロナ禍を経験して生活も変わり、新しい生き方や価値観も生まれて多様化した社会で、新たな問題にどう取り組むのか考えないといけない時代となりました。私たち理学療法士は、純然たる理学療法の真髄を見極めつつ、これまで培った経験や知識と創造力を駆使した新しい技術を持って一步前に進む必要があります。

今回の学術大会では、以下の点に焦点を当てて企画しました：

1. 最新の研究成果の発表：循環器理学療法に関する最新の研究成果を共有し、今後の方向性を探ります。
2. 新技術とその応用：AIやビッグデータ、遠隔医療など、先端技術を導入した新しい循環器理学療法の展開について議論します。
3. 多疾患併存の対策：高齢化社会において重要な健康課題である多疾患併存への対応策を検討し、包括的なアプローチや理学療法の工夫を模索します。
4. 循環器理学療法の評価：急性期、回復期、維持期における循環器理学療法の評価を掘り下げると同時に、評価結果に基づく個別化介入のあり方を深く議論します。
5. 理学療法士が応える多様なニーズ：循環器理学療法に関する他領域とコラボレートした実践、研究の事例を共有し、多様な活躍の場を再認識するきっかけとします。

本学会の開催地となる名古屋市は世界的なモノづくり都市として発展してきました。いくつかの特徴を持つ技術が互いに織りなすことによって、新しく優れた価値観を生み出してきました。参加者の皆様におかれましても、この学術大会を通じて新たな視点や知識を得て循環器理学療法のミライに役立てていけることを願っています。2025年12月13日、14日、名古屋市のウインクあいちにて、皆様とお会いできることを心より楽しみしております。

準備委員

副大會長	花田智（都城市郡医師会病院）
準備委員長	河野裕治（藤田医科大学病院）
準備委員長補佐	濱崎伸明（北里大学病院）
総務部 部長	山本周平（信州大学医学部附属病院）
副部長	中島真治（日本福祉大学）
委員	森沢知之（神戸リハビリテーション病院） 鬼頭比沙子（名古屋ハートセンター） 山本将大（愛知医科大学病院） 小栗陽花（愛知医科大学病院） 荻野智之（兵庫医科大学） 石原広大（甲南女子大学）
企画部 部長	足立拓史（名古屋市立大学）
副部長	野崎康平（北里大学病院）
委員	片野唆敏（札幌医科大学附属病院） 堀田一樹（北里大学） 岩津弘太郎（順天堂大学） 小川真人（大阪保健医療大学） 小林聖典（名古屋大学医学部附属病院） 篠原史都（藤田医科大学病院） 榎 聰子（春日部中央病院） 萩原悠太（株式会社 Prevent） 山本智史（IMS 板橋リハビリテーション病院） 藤山裕晃（キープオン守山）
財務部 部長	内藤紘一（名古屋薬大学）
副部長	鹿児嶋徹（大同病院）
委員	中武仁士（大同病院）
渉外部 部長	柴田賢一（名古屋ハートセンター）
副部長	入谷直樹（豊橋ハートセンター）
委員	亀島匡高（名古屋ハートセンター） 田屋 雅信（東京大学医学部附属病院）
広報部 部長	西川大樹（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院）
副部長	北岡敬悟（中京病院）
委員	久保貴嗣（中京病院） 千葉 一幸（東北医科大学） 清水美帆（三重大学部医学部附属病院） 樋原勇人（NTT 東日本関東病院） 望月優人（むさしの病院）

運営部	部長	永田英貴（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院）
	副部長	石黒博也（知多半島総合医療センター）
	委員	大西順子（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院） 山内加菜（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院） 伊藤拓哉（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院） 伊藤翔太（藤田医科大学病院） 大田英登（知多半島りんくう病院） 西脇朱音（愛知医科大学病院） 塚田 晋太朗（豊橋創造大学） 大西諒弥（鵜飼リハビリテーション病院） 鈴木雄也（名城病院）
事務局	局長	河野裕治（藤田医科大学病院）
	局長補佐	小澤祐士（藤田医科大学病院）
	局員	福留拓馬（藤田医科大学病院） 大橋美香（藤田医科大学病院） 前嶋橘香（藤田医科大学病院） 北別府夏織（藤田医科大学病院）

日程表

2025年12月13日（土）

	会場1 大ホール (2-3F)	会場2 小ホール1 (5F)	会場3 小ホール2 (5F)	会場4 8F展示場 Tech to the Future	会場5 8F展示場 ポスター会場	会場6 9F 901 ハンズオン ブース
9:00	9:00-9:10 開会式					
9:10		9:10-10:10 委員会企画1 P-1グランプリ2025 ～そのプレゼン覚醒させま す！東西対抗戦～ 座長:板垣篤典 角谷尚哉	9:10-10:10 一般口述1 入院関連機能障害の評価と 対策 座長:天尾理恵		9:10-10:10 ポスターセッション 心不全 座長:鬼頭和也	
	9:20-10:00 大会長講演 講師:飯田有輝 司会:花田智			9:40-10:10 企業セミナー グレースイメージング	回復期・維持期2 座長:松尾知洋	
10:10	10:10-11:20 日本集中治療医学会 ジョイントセッション 集中治療における理学療法 士への期待と進むべきマイ 予想図 座長:高橋哲也 飯田有輝					
10:20		10:20-11:20 シンポジウム1 下肢閉塞性動脈硬化症の理 学療法を極める～理学療法の 未来を考える～ 座長:林久恵 今岡信介	10:20-11:20 一般口述2 回復期・維持期の循環器理学 療法 座長:大浦啓輔		10:20-11:20 ポスターセッション 心臓血管外科術後1 座長:河村知範 運営・連携 座長:中島 真治	10:20-11:20 ハンズオン1 ウェットラボ～顕微鏡で筋細胞 を覗いてみよう～ 講師:堀田一樹
11:20						
11:30	11:30-12:30 バトルディスカッション1 デジタルヘルスの可能性と理 学療法の応用を探る 座長:内藤祐一 作井大介	11:30-12:30 Award session 1 Best Clinical Research 座長:櫻田弘治 田畠稔	11:30-12:30 一般口述3 予後予測を理学療法に活か す 座長:柴田賢一	11:30-13:00 CPXデモンストレーション 講師:河野裕治	11:30-12:30 ポスターセッション ICU領域 座長:下雅意崇寧 回復期・維持期2 座長:山本智史	
12:30						
12:35		ランチョンセミナー1 共催: 株式会社gene	TechPulse Luncheon 共催:walkey インターリハ インボディ・ジャパン Health Link エントリージャパン			
13:20						
13:30	13:30-14:30 功労賞受賞記念特別講演 講師:山田純生 司会:飯田有輝 主催 日本循環器理学療法学会					
14:30						
14:45	14:45-15:45 JSNPT/JSMPT/JSCVPT ジョイントセッション 急性期理学療法の真のアウト カムとは？ 座長:齊藤正和 河野裕治	14:45-15:45 ディベート 循環器理学療法において栄 養評価は本当に必要か？ —評価からその先へ、実践的 活用を問う— 座長:片野峻敏	14:45-15:45 一般口述4 臨床と教育の工夫 座長:日下さと美	14:45-15:30 企業セミナー MTG	14:45-15:45 ポスターセッション 基礎・トレーニング様式 座長:田宮創 地域・在宅 座長:上坂建太	14:45-16:15 ハンズオン2 Diaphragm ultrasound workshop 講師:大倉和貴 14:45-15:45 ウェットラボ～顕微鏡で筋細胞 を覗いてみよう～ 講師:堀田一樹
15:45						
16:00	16:00-17:00 シンポジウム2 心不全患者に対する理学療 法研究の次なる論点 座長:神谷健太郎 足立拓史	16:00-17:00 公募型シンポジウム1 in vivo研究から見えてきた集 中治療領域における 循環器理学療法 座長:木村雅彦	16:00-17:00 Award session 2 ミライAward 座長:近藤和夫			
17:00						

2025年12月14日(日)

	会場1 大ホール (2-3F)	会場2 小ホール1 (5F)	会場3 小ホール2 (5F)	会場4 8F展示場 Tech to the Future	会場5 8F展示場 ポスター会場	会場6 9F 901 ハンズオン ブース
9:00	9:00-10:00 シンポジウム3 どこまでわかった?これからどうなる?PICSのイマとミライ 座長:岩津弘太郎 篠原史都	9:00-10:00 シンポジウム4 重症度別に考える回復期における循環器理学療法の実際と課題 座長:加藤倫卓 岩田健太郎	9:00-10:00 一般口述5 骨格筋・栄養評価 座長:齊藤洋	9:00-10:00 Award session 3 Best Clinical Cases 座長:内山覚	9:00-10:00 ポスターセッション 心不全2 座長:北垣 和史	
10:00						
10:15	10:15-11:15 シンポジウム5 心臓血管外科周術期理学療法のベストプラクティス 座長:小川真人 森沢知之	10:15-11:15 シンポジウム6 地域で支える循環器理学療法のミライ 座長:大浦啓輔 藤山裕晃	10:15-11:15 Award session 4 New Insights Award 座長:井澤和大		10:15-11:15 ポスターセッション 虚血性心疾患 座長:笠原酉介	10:15-11:15 ハンズオン3 ウェットラボ~顕微鏡で筋細胞を覗いてみよう~ 講師:堀田一樹
11:15						
11:30	11:30-12:30 大会長基調特別講演 講師:松永篤彦 司会:神谷健太郎	11:30-12:30 公募型シンポジウム2 実践を通して学ぶ循環器緩和ケアにおける理学療法士の専門性 座長:千葉一幸 阿部隆弘	11:30-12:30 一般口述6 理学療法評価・介入 座長:横田純一			
12:30						
12:45		ランチョンセミナー2 共催: リモハブ	ランチョンセミナー3 共催: Fisher & Paykel Healthcare	12:30-13:30 CPX解析ハンズオン 講師:河野裕治		
13:30						
13:45	13:45-14:45 委員会企画2 Rising Stars 女性研究者が切り拓く循環器 理学療法 座長:片野峻敏 中村みづき	13:34-14:45 公募型シンポジウム3 肺高血圧症に対する理学療法の最前線 座長:中尾周平 安藤可織	13:45-14:45 Award session 5 English Presentation Award Chair: Masakazu Saitoh	13:45-14:35 協賛セミナー 日本遠隔運動療法協会	13:45-14:45 ポスターセッション 心臓血管外科術後2 座長:堀健太郎	13:45-15:15 ハンズオン4 Diaphragm ultrasound workshop 講師:大倉和貴 13:45-14:45 ウェットラボ~顕微鏡で筋細胞を覗いてみよう~ 講師:堀田一樹
14:45						ポスター撤去
15:00	15:00-16:00 パネルディスカッション2 重複障害を有する循環器疾患患者に対する病期ごとの理学療法戦略を探る 座長:野崎康平 佐藤聰見	15:00-16:00 シンポジウム7 骨格筋研究の最前線・新規治療の探索 座長:堀田一樹	15:00-16:00 一般口述7 身体活動量のモニタリング 座長:清水美帆			
16:00						
	16:15-16:45 表彰式 次期大会長挨拶 閉会式					

会場への交通案内



愛知県産業労働センター ウインクあいち

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-4-38 TEL:052-571-6131 (代)

愛知県産業労働センター ウインクあいち

- JR名古屋駅桜通口から…ミッドランドスクエア方面 徒歩5分
各線地下鉄名古屋駅から…ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分
※名駅地下街サンロードからミッドランドスクエア、マルケイ観光ビル、
名古屋クロスコートタワーを経由 徒歩8分
- JR(東海道新幹線)をご利用の場合
○東京…約100分 ○新大阪…約50分

お車をご利用の場合

- 名古屋高速都心環状線「錦橋」出口より約6分
駐車場…収容台数123台

飛行機をご利用の場合

- 中部国際空港(セントレア)から…約30分(名鉄空港特急利用、名鉄名古屋駅まで)
■県営名古屋空港から…約20分(高速バス利用、ミッドランドスクエア前バス停まで)

会場案内



※1: 第5会場(ハンズオンブース)は9階の大会議室901にお越しください。

※2: 授乳室、プレイルームは9階の会議室906に設置しております。

参加者の皆様へ

会期 2025年12月13日（土）～14日（日）

オンデマンド配信：プレコングレス企画、ポストコングレス、第1会場（講演・シンポジウム）

*LIVE配信はございません

*ご視聴には参加受付メールに記載のパスワードが必要です

会場 ウインクあいち

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

総合受付

日時	場所
2025年12月13日（土） 8:00-17:00	ウインクあいち 8F展示室
2025年12月14日（日） 8:00-15:30	

ネームカード

ネームカードはご自身で学術大会ホームページよりダウンロード・印刷の上会場にお越しください。

ネームカードをお忘れの場合、参加登録完了を示す「参加登録完了メール」を上記の総合受付にご提示いただき、ネームカードを発行いたします。ネームカードホルダーは会場にご用意しております。

参加証明書

参加証明書は、総合受付に設置しております「参加証明書申請」のQRコードを読み込んで頂いて、必要事項をご登録ください。自動返信メールにて参加証明書のダウンロードURLが送付されます。ご自身でダウンロード、印刷し、必要事項を記載してご使用ください。

単位（ポイント）取得

本学術大会は、下記の単位/ポイントを取得することができます

（公社）日本理学療法士協会生涯学習ポイント（点数）

- 1) 学術大会（学会参加） 14.5 ポイント（点）；登録理学療法士更新ポイント、認定/専門理学療法士更新点数として
- 2) 学術大会での一般発表（筆頭演者のみ）、講師、シンポジスト 20 点：認定/専門理学療法士更新点数として
- 3) 学術大会での座長 10 点：認定/専門理学療法士更新点数として

※座長・演題登録者も事前参加登録が必要です。

※発表者の変更は、共同演者による代理発表のみ許可されます。発表のポイントとして登録できるのは、筆頭演者のみです（二重発行、両者での分割はできません）

腎臓リハビリテーション指導士更新単位

- 1) 参加：5 単位
- 2) 発表（腎臓リハビリテーションに関連する主演者）：5 单位

*単位取得方法は腎臓リハビリテーション学会ホームページをご確認ください。

企業展示

日時	場所
2025年12月13日（土） 9:00-17:00	
2025年12月14日（日） 9:00-16:00	ウインクあいち 8F展示室

*企業プレゼンテーション：企業展示会場内で企業共催プレゼンテーションを開催します。

日時や申し込みの有無についてはプログラムをご確認ください。

休憩コーナー

日時	場所
2025年12月13日（土） 9:00-17:00	
2025年12月14日（日） 9:00-16:00	ウインクあいち 8F展示室

懇親会

日時	場所
2025年12月13日（土） 17:30-19:00	ウインクあいち 8F展示室

懇親会は事前申し込み制となっております。当日のご参加はできません。

Wi-Fi

ウインクあいち内にて無料 Wi-Fi をご利用頂けます。

SSID およびパスワードは会場内に提示いたします。

*回線の混雑状況や通信環境により、通信速度が低下する場合がございます。

お子様連れの学会参加

本学会ではお子さま連れてのご来場を歓迎いたします。

是非、理学療法士としての保護者の背中をお子さまにも見せてあげてください。

セッション会場には子連れ優先席を設置しております。

託児所の設置はございませんが、プレイルームをご用意しています。

* プレイルーム利用方法

会場内に未就学児のお子さまとその保護者のみご利用可能なプレイルームを設置しております。

プレイルームをご利用の方は受付にてお子さま用の参加証（シールタイプ）受け取り、お子さまの名前をご記入の上、洋服に貼付してご入室ください。プレイルームの利用は保護者の方の自己責任をお願いいたします。プレイルームの場所は会議室 906（9 階）となります。

その他

1. 会場内は全て禁煙です。
2. 第1会場（大ホール）は飲食禁止です。
3. 会場内での携帯電話（通話）はご遠慮ください。マナーモードに切り替えの上ご入場ください。
4. 会場内での許可なき録音・録画・写真撮影は固く禁止いたします。

口述発表
座長・演者の皆様へ

発表時間

形式	発表時間	質疑応答時間
Best Clinical Research New Insights Award Best Clinical Cases ミライ Award Rising star	7分	4分
English Presentation Award	6分	3分
一般口述	6分	3分
その他	事前にご連絡したメールやプログラムにて、ご自身の発表時間等 をご確認ください。	

*発表は時間厳守でお願いします。進行は座長の責任において行ってください。

*一般口述の座長はご担当いただくセッションにおいて最も優れたポスター発表選び、報告用紙に記載して総合受付までご提出ください。

座長のご担当者様

ご担当のセッションの30分前までに座長受付をお済ませください。

座長受付は8階展示室内（参加受付付近）に設置いたします。

ご担当のセッション開始10分前までに次座長席（会場右手前方）にお越しください。

質疑の際は、所属・氏名を確認するようお願いいたします。

座長が2名選出されているセッションについては、セッション内の分担は座長2名へ一任いたします。不足の事態にて、座長1名の職務が遂行不可能となった場合には、代理は立てず、1名で座長の職務を務めていただきます。

演者の皆様へ

PC受付

発表セッション開始30分前までにPC受付にてデータの試写をお願いいたします。また、ご講演の5分前までに講演会場左手前方の次演者席にお越しください。

日時	場所
2025年12月13日（土） 8:30-17:00	ウインクあいち 5F PC受付
2025年12月14日（日） 8:30-16:30	

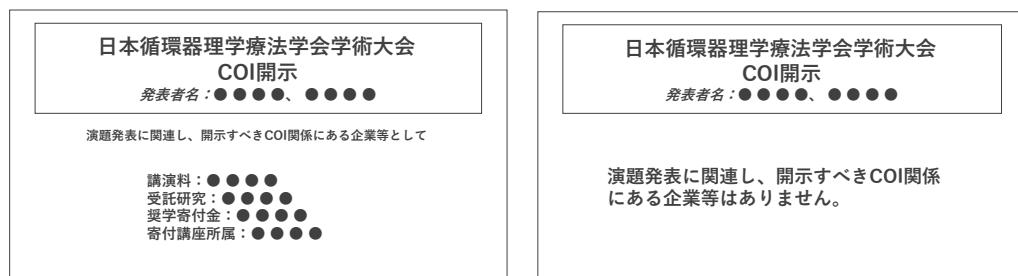
1. パワーポイントスライドの大きさは「ワイド（16:9）」で作成ください。
2. 当日、会場には以下のPCを準備します。
3. OS: Windows11 アプリ: PowerPoint

4. Macintoshをご利用の方は、ご自身のノートPCをご持参ください。
 - ※ 接続ケーブルはHDMIです。PCによって（Macintosh等）は専用の映像出力アダプタが必要になりますので、必ずご持参ください。
 - ※ また、電源アダプタを必ずご持参ください。
5. Windowsでは文字化け防止のために以下のフォントを使用してください。
 - ※ 【日本語】
 - ※ MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝、メイリオ、游ゴシック、游明朝
 - ※ 【英語】
 - ※ Times New Roman, Arial, Arial Black, Arial Narrow, Century, Century Gothic, Courier, Courier New, Georgia
6. 発表データは、持ち込まれたファイル単体で動くようにしてください。
7. 動画をご使用の場合は、MediaPlayerもしくはQuickTimeで作成してください。動画ファイルを含む場合は、フォルダに入れた上で演題番号をフォルダ名として保存してください。
8. 円滑な進行のため、発表者ツールのご使用はご遠慮ください。
9. USBフラッシュメモリーにて発表データを提出し、発表データのファイル名は「セッション名_演題番号_氏名」としてください。持ち込まれるUSBフラッシュメモリーは、必ず各自にてウイルスチェックを行ってご持参ください。
10. データ受付への提出時にスライド確認を行ってください。
11. 一般口述ではPC持ち込みを受け付けておりません。必ずUSBフラッシュメモリーで発表データを登録してください。
12. 学会のPCにコピーしたデータは、会期終了後に学会主催者側で責任を持って削除いたします。
13. 不測の事態に備えて、必ずバックアップデータをご持参ください。
14. スライド作成に当たっては、個人情報、著作権、肖像権等にご注意ください。著作権などのトラブルにつきまして、大会運営側では責任を負いかねますので、発表前にご確認いただきますようお願ひいたします。

利益相反

口演で発表される方は、利益相反の申告をお願いします。

以下をご参考の上ご作成頂き、スライドの1枚目にご提示頂きますようお願いいたします。



ポスター発表
座長・演者の皆様へ

発表時間

セッション名	発表時間	質疑応答時間
一般演題（ポスター発表：日本語）	4分	3分

*発表は時間厳守でお願いします。進行は座長の責任において行ってください。

*座長はご担当頂くセッションにおいて最も優れたポスター発表選び、報告用紙に記載して総合受付までご提出ください。

座長のご担当者様

担当セッション開始時刻の30分前までに、座長受付をお済ませください。

座長受付は8階展示室内（参加受付付近）に設置いたします。

セッション開始時刻の10分前までに担当セッションの会場付近にお越しください。

所定の時間内にて終了するようにご配慮のほどお願ひいたします。

運営側によるセッション開始と終了の案内はございません。

セッション内での進行に関しましては座長に一任いたします。

演者の皆様へ

ポスター貼付時間内にポスター会場で演者受付を済ませて、指定パネルへポスター貼付してください。各ポスターセッション開始時刻10分前までに各自ポスター前に待機してください。

座長の指示に従って指定された時間内での発表をお願いいたします。



ポスターは縦210cm×横90cmです。レイアウト図をご参考にご準備ください。推奨するポスターサイズは縦180cm×横90cmです。

演題番号、画鋲は事務局で用意いたします。両面テープなどの使用は控えてください。

撤去時間を過ぎても、撤去されていないポスターは、事務局にて処分いたしますので、予めご了承ください。

ポスター作成に当たっては、個人情報（患者等）、著作権、肖像権などに特にご注意ください。著作権などのトラブルにつきまして、大会運営側では責任を負いかねますので、発表前にご確認いただきますようお願いいたします。

貼付・撤去時間

日程	貼付時間	撤去時間
12月13日（土）	8:30-9:00	15:45-16:00
12月14日（日）	8:30-9:00	14:45-15:00

ポスター中に利益相反について開示してください。

利益相反の開示に関する基準については、日本理学療法学会連合ホームページをご参照ください。

<https://www.jspt.or.jp/shinsa/coi/index.html>

ポスターの最後に利益相反についてご提示頂きますようお願い致します。

開示するCOIが有る場合

発表者：●●●●●、●●●●●、●●●●●

【利益相反の開示】

本研究に関連し開示すべきCOI関係にある企業等は以下の通りです

講演料：●●●●●、受託研究：●●●●●、奨学寄付金：●●●●●、

寄付講座所属：●●●●●

開示するCOIが無い場合

発表者：●●●●●、●●●●●、●●●●●

【利益相反の開示】

本研究に関連し開示すべきCOI関係にある企業等はありません。

プログラム

大会長講演
循環器理学療法学会主催 功労賞受賞記念特別講演
大会長基調特別講演
学会合同企画
委員会企画セッション
シンポジウム
パネルディスカッション
ディベートセッション
公募型シンポジウム
ハンズオンセミナー
ランチョンセミナー
企業セミナー
Best Clinical Research
New Insights Award
Best Clinical Cases
ミライ Award
English Presentation Award
Rising Star
一般演題 口演
一般演題 ポスター

大会長講演

12月13日（土）9:20~10:00（第1会場：大ホール）

テーマ：Moving forward—ミライを織りなす—

講師：飯田有輝（第9回循環器理学療法学会大会長、愛知淑徳大学）

司会：花田智（第10回循環器理学療法学会大会長、都城市郡医師会病院）

日本循環器理学療法学会主催 功労賞受賞記念特別講演

12月13日（土）13:30~14:30（第1会場：大ホール）

テーマ：君はどのドアを開けるのか？

講師：山田純生（愛知医科大学・日本循環器理学療法学会名誉会員）

司会：飯田有輝（愛知淑徳大学）

大会長基調特別講演

12月14日（日）11:30~12:30（第1会場：大ホール）

テーマ：心疾患そして腎疾患の理学療法を歩んで—今、思うこと、伝えたいこと—

講師：松永篤彦（北里大学）

司会：神谷健太郎（北里大学）

学会合同企画1：日本集中治療医学会ジョイントセッション

12月13日（土）10:10~11:20（第1会場：大ホール）

テーマ：集中治療における理学療法士への期待と進むべきミライ予想図

座長：高橋哲也（順天堂大学）

　　飯田有輝（愛知淑徳大学）

ICUから創るミライー集中治療における理学療法士の進化と価値創造

○井上茂亮（和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座）

集中治療科領域の専門職としての自立と連携

○河合佑亮（藤田医科大学病院看護部）

集中治療において集中治療理学療法士が果たすべき役割

○篠原史都（藤田医科大学病院）

循環器集中治療における理学療法士の役割

○濱崎伸明（北里大学病院）

抄録集 P2-P5

学会合同企画2：日本神経理学療法学会/日本運動器理学療法学会ジョイントセッション
12月13日（土）14:45~15:45（第1会場：大ホール）
テーマ：急性期理学療法の真のアウトカムとは？

座長：河野裕治（藤田医科大学病院）
齊藤正和（順天堂大学）

急性期脳卒中理学療法で追い求めるべき真のアウトカムとは？
○野添匡史（兵庫医科大学）

運動器領域における急性期理学療法の真のアウトカムを考える
○南里佑太（北里大学病院）

循環器疾患における急性期理学療法の真のアウトカムを探求する
○濱崎伸明（北里大学病院）

抄録集 P6-P8

委員会企画

U-40・ダイバーシティ推進委員会：P-1 グランプリ 2025～そのプレゼン覚醒させます！

東西対抗戦～

12月13日（土）9:10～10:10（第2会場：5F 小ホール1）

座長：板垣篤典（東京都立大学）

角谷尚哉（株式会社 Health Link）

○横田純一（弘前大学）

○野崎康平（北里大学病院）

○北垣和史（四条畷学園大学）

シンポジウム 1：下肢閉塞性動脈硬化症の理学療法を極める～理学療法の未来を考える
12月 13日（土）10:20~11:20（第2会場：5F 小ホール 1）

座長：林久恵（愛知淑徳大学）
今岡信介（大分岡病院）

下肢閉塞性動脈硬化症のメカニズムと概要
○高木大地（名古屋大学医学部附属病院）

下肢閉塞性動脈硬化症の理学療法評価～悪化予防どうしたら良い?～
○榎聰子（春日部中央総合病院）

下肢閉塞性動脈硬化症の運動療法
○森正志（森之宮病院）

抄録集 P10-P12

シンポジウム 2：心不全患者に対する理学療法研究の次なる論点：評価から介入へ
12月 13日（土）16:00~17:00（第1会場：大ホール）

座長：神谷健太郎（北里大学）
足立拓史（名古屋市立大学）

心不全領域における理学療法研究の展望－評価から介入へ
○神谷健太郎（北里大学）

心不全患者の機能改善に資する個別化トレーニングとアウトカムの着眼点
○阪口将登（角谷リハビリテーション病院）

心不全の筋質評価は臨床意思決定をどう変えるか:超音波剪断波エラストグラフィが開く
個別化理学療法の展望
○片野峻敏（札幌医科大学附属病院）

抄録集 P13-P15

シンポジウム 3：どこまでわかった？日本の PICS の現在（いま）

12月 14日（日）9:00~10:00（第1会場：大ホール）

座長：岩津弘太郎（順天堂大学）

篠原史都（藤田医科大学病院）

日本人 PICS の疫学(存在率とリスク因子)～J-RELIFE study から～

○柳田頼英（長崎大学）

集中治療室での PICS 対策の現状

○高橋佑太（聖路加国際大学 聖路加国際病院）

回復期リハビリテーション病院での PCIS 対策のイマとミライ

○松木良介（神戸リハビリテーション病院）

抄録集 P16-P18

シンポジウム 4：重症度別に考える回復期病棟における循環器理学療法と作業療法の実際と課題

12月14日（日）9:00~10:00（第2会場：5F 小ホール1）

座長：加藤倫卓（名古屋市立大学）

岩田健太郎（神戸市立医療センター中央市民病院）

回復期リハビリテーション病棟による心臓リハビリテーションレジストリーにおける現状報告

○増田紘将（静清リハビリテーション病院）

重症度別に考える回復期病棟における循環器理学療法～CPX ガイド～

○山本智史（イムス板橋リハビリテーション病院）

回復期リハビリテーション病棟における低身体機能例に対する循環器理学療法の実際

○松尾知洋（西記念ポートアイランドリハビリテーション病院）

循環器作業療法の現状と課題

○武田智徳（新潟南病院）

抄録集 P19-P22

シンポジウム 5：心臓血管外科周術期理学療法のベストプラクティス

12月 14日（日）10:15~11:15（第1会場：大ホール）

座長：森沢知之（神戸リハビリテーション病院）

小川真人（大阪保健医療大学）

重症心不全患者に対する術後早期の積極的理学療法

○永富祐太（九州大学）

フレイルを有する高齢心臓外科手術後患者における周術期理学療法

○平川功太郎（榎原記念病院）

最適な術前理学療法プログラムとその効果

○渡邊英孝（順天堂大学医学部附属練馬病院）

抄録集 P23-P25

シンポジウム 6：地域で支える循環器理学療法のミライ～基幹病院から在宅までの切れ目のない連携を目指して～

12月14日（日）10:15～11:15（第2会場：5F 小ホール1）

座長：大浦啓輔（のぞみハートクリニック天王寺）

藤山裕晃（訪問看護キープオン守山）

当院における地域連携の現状と課題

○河邨誠（海南病院）

当院における循環器疾患患者の維持期地域連携体制の構築とその課題

○宮澤僚（昭和医科大学）

クリニック外来心臓リハビリテーションにおける連携の実際と課題

○寺井正樹（河村内科ハートクリニック）

介護領域における地域連携の課題と要望～訪問リハでの循環器理学療法の現状と評価体制構築の取り組み～

○沖由香里（株式会社 Steps リハビリ訪問看護ステーション蓄）

抄録集 P26-P29

シンポジウム 7：骨格筋研究の最前線：新規治療の探索
12月 14日（日）15:00~16:00（第2会場：5F 小ホール1）

座長：堀田一樹（北里大学）

骨格筋の可塑的変化に対する骨格筋電気刺激の効果：既知の介入戦略に見出す新たな可能性
○本田祐一郎（長崎大学）

アイシングから温度センサーをターゲットとした治療開発の可能性
○高木領（昭和医科大学）

抄録集 P30-P31

パネルディスカッション1：デジタルヘルスの可能性と理学療法への応用を探る
12月13日（土）11:30~12:30（第1会場：大ホール）

座長：内藤紘一（名古屋薬大学）
作井大介（株式会社 PREVENT）

デジタルヘルスと臨床実践の架け橋
○金居督之（金沢大学）

デジタルヘルスの可能性と理学療法への応用を探る
○田平健人（鹿児島大学）

循環器理学療法におけるデジタルヘルスの進化：患者中心設計と行動科学に基づく次世代遠隔理学療法の展望
○内藤紘一（名古屋薬大学）

抄録集 P32-P34

パネルディスカッション2：重複障害を有する循環器疾患患者に対する病期ごとの理学療法戦略を探る

12月14日（日）15:00~16:00（第1会場：大ホール）

座長：野崎康平（北里大学病院）

佐藤聰見（福島県立医科大学）

重複障害を有する循環器疾患患者に対する急性期の理学療法戦略

○長岡凌平（札幌医科大学）

回復期における多疾患併存・重複障害を有する循環器疾患患者に対する理学療法戦略

○大坪拓朗（西記念ポートアイランドリハビリテーション病院）

維持期における多疾患併存・重複障害を有する循環器疾患患者に対する理学療法戦略

○皆川七穂（あさぶハート・心リハクリニック）

抄録集 P35-P37

ディベートセッション：循環器理学療法において栄養評価は本当に必要か？—評価からその先へ、実践的活用を問う—

12月13日（土）14:45~15:45（第2会場：5F 小ホール1）

座長：片野峻敏（札幌医科大学附属病院）

ディベート1：循環器理学療法に栄養評価は必要か？

Pros：必要である（理学療法士だからこそ行える評価がある）

○松嶋真哉（杏林大学）

Cons：必要ではない（理学療法士が行う栄養評価に付加価値はない）

○山本周平（信州大学医学部附属病院）

ディベート2：「急性期」における栄養評価は理学療法の実践に影響を与えるか？

Pros：影響を与える（栄養評価を行うことで急性期の安全で効果的な理学療法を実現できる）

○横田純一（弘前大学）

Cons：影響を与えない（栄養評価を行ったところで急性期における理学療法ですべきことは変わらない）

○角谷尚哉（株式会社 Health Link）

抄録集 P38

公募型シンポジウム 1：in vivo 研究から見えてきた集中治療領域における循環器理学療法
12月 13日（土）16:00~17:00（第2会場：大ホール）

座長：木村雅彦（杏林大学）

In vivo 研究を集中治療に繋げる：自律神経反射の臨床応用への展開
○守屋正道（昭和医科大学）

In vivo 研究を集中治療に繋げる：運動時の組織内酸素分圧のリアルタイム計測
○堀田一樹（北里大学）

抄録集 P39-P40

公募型シンポジウム 2：実践を通して学ぶ循環器緩和ケアにおける理学療法士の専門性
12月14日（日）11:30~12:30（第2会場：5F 小ホール1）

座長：千葉一幸（東北医科薬科大学病院）
阿部隆宏（北海道医療大学）

心不全緩和ケアにおける循環器理学療法の現状と教育的展望
○阿部隆宏（北海道医療大学）

急性期現場での意思決定支援と多職種連携
○千葉一幸（東北医科薬科大学病院）

心臓移植医療に関する意思決定支援と理学療法士の関わり
○天尾理恵（東京大学医学部附属病院）

地域で支える心不全緩和ケアと理学療法の実践
○鬼村優一（医療法人社団ゆみの）

抄録集 P41-P44

公募型シンポジウム 3：肺高血圧症に対する理学療法の最前線－病態理解と肺・循環動態に応じた治療展開－

12月14日（日）13:45～14:45（第2会場：5F 小ホール1）

座長：中尾周平（鹿児島大学病院）

安藤可織（岡山赤十字病院）

理学療法に必要な肺高血圧症の基礎知識

○稻垣武（千葉県立保健医療大学）

運動時肺高血圧症の評価-右心カテーテル併用の心肺運動負荷試験-

○坂本勇斗（杏林大学医学部付属病院）

あなたならどうする？難渋する肺高血圧症患者に対する理学療法

○飛田和基（埼玉医科大学）

押さえておきたい！病態が安定している肺高血圧症患者に対する理学療法

○小槻公大（神戸大学医学部附属病院）

抄録集 P45-P48

ハンズオンセミナー：ウェットラボ～顕微鏡で筋細胞を覗いてみよう～

12月13日（土）10:20～11:20（第6会場：9階会議室901）

12月13日（土）14:45～15:45（第6会場：9階会議室901）

12月14日（日）10:15～11:15（第6会場：9階会議室901）

12月14日（日）13:45～14:45（第6会場：9階会議室901）

講師：堀田一樹（北里大学）

ハンズオンセミナー：Diaphragm ultrasound workshop

12月13日（土）14:45～16:15（第6会場：9階会議室901）

12月14日（日）13:45～15:15（第6会場：9階会議室901）

講師：大倉和貴（秋田大学医学部附属病院）

篠原史都（藤田医科大学病院）

野々山忠芳（一宮西病院）

佐藤宏樹（川崎医療福祉大学）

CPXハンズオンセミナー

デモンストレーション 12月13日（土）11:30～13:00（第4会場：8F展示場）

解析ハンズオン 12月14日（日）12:30～13:30（第4会場：8F展示場）

講師：河野裕治（藤田医科大学病院）

※13日はCPXのデモンストレーション、14日は解析画面を実際に操作していただきま
す。昼食（各自でご準備ください）を食べながらお気軽にご参加ください。

ランチョンセミナー1（共催：株式会社 gene）
12月13日（土）12:30-13:15（第2会場：5F 小ホール1）
「リハスタッフの働き方改革とコンプライアンス」
司会・講師：張本 浩平（株式会社 gene）

TechPulse Luncheon
12月13日（土）12:30-13:15（第3会場：5F 小ホール2）
司会：宮崎慎二郎
○株式会社 walkey
○インターリハ株式会社
○株式会社インボディ・ジャパン
○株式会社 Health Link
○株式会社エントリージャパン

ランチョンセミナー2（共催：株式会社リモハブ）
12月14日（日）12:45-13:30（第2会場：5F 小ホール1）
「心臓リハビリテーションの現在地と Unmet Needs：UHC 時代の遠隔心リハの必然性」
司会：加藤 優（名古屋市立大学）
講師：神谷 健太郎（北里大学）

ランチョンセミナー3（共催：Fisher & Paykel HEALTHCARE 株式会社）
12月14日（日）12:45-13:30（第3会場：5F 小ホール2）
「High Flow Nasal Cannula がつなぐ運動療法のミライ」
司会：森沢 知之（神戸リハビリテーション病院）
講師：柳田 賴英（長崎大学）

※ランチョンセミナーは開始後になった時点より、残ったお弁当はチケットを持っていない方にお配りします。あらかじめご理解のほどよろしくお願ひします。

企業共催セミナー（共催：グレースイメージング）

12月13日（土） 9:40～10:10（第4会場：8F展示場）

「汗乳酸モニタリングシステム－運動耐容能評価機器としての評価－」

○山岸 純也（岐阜大学医学部附属病院 心臓血管リハビリテーション室）

企業共催セミナー（共催：株式会社 MTG）

12月13日（土） 14:45～15:15（第4会場：8F展示場）

12月14日（日） 10:45～11:15（第4会場：8F展示場）

「循環器症例の在宅リハビリにおける神経筋電気刺激療法の役割－SIXPADの可能性－」

○前口 大海（総合大雄会病院）

企業セミナー（共催：日本遠隔運動療法協会）

12月14日（日） 13:45～14:35（第4会場：8F展示場）

「遠隔心リハ “ことはじめ”」

○伊東春樹（認定NPO法人ジャパンハートクラブ）

Best Clinical Research : 12月13日(土) 11:30 - 12:30 (第2会場: 5F 小ホール1)

座長: 櫻田 弘治 (心臓血管研究所付属病院)

田畠 稔 (東京保健医療専門職大学)

審査員: 飯田 有輝 (愛知淑徳大学)、神谷 健太郎 (北里大学)

高橋 哲也 (順天堂大学)、加藤 倫卓 (名古屋市立大学)

BCR-1 訪問リハビリテーションを実施した心不全患者の下肢機能と身体活動の変化—同居状況による差異—

○古田 佳祐 (ゆみのハートクリニック渋谷 訪問リハビリテーション部)

BCR-2 高齢心不全患者の入院中の Short Physical Performance Battery 低下が全死亡および心不全再入院に与える影響

○鈴木 伸治 (東京警察病院 リハビリテーション科)

BCR-3 75歳以上の心血管疾患患者における歩行指標の変化と全死亡との関連性

○佐藤 薫 (北里大学大学院 医療系研究科)

BCR-4 血液透析患者の亜最大負荷で得られる心肺運動負荷試験指標と生命予後の関連: 前向きコホート研究

○西山 裕貴 (嬉泉病院 リハビリテーション科)

BCR-5 安定期心血管疾患患者における推奨身体活動量に対する6分間歩行距離の年代別基準値

○苅谷 英紀 (北里大学病院 リハビリテーション部)

抄録集 P52-P56

New Insights Award : 12月14日(日) 10:20 – 11:20 (第3会場: 5F 小ホール2)

座長: 井澤 和大 (神戸大学)

審査員: 上坂 建太 (北野病院) 、佐藤 聰見 (福島県立医科大学)

NIA-1 心不全患者の退院時 Short Physical Performance Battery は将来医療費が高額になることを予測する

○松尾 興志 (JA 神奈川県厚生連相模原協同病院 リハビリテーション室)

NIA-2 ICU 退室後の敗血症患者における運動時四肢骨格筋酸素動態が運動耐容能低下に及ぼす影響-pilot study-

○田中 朝陽 (帝京大学医学部附属病院 リハビリテーション部)

NIA-3 ウェアラブル NIRS による脳循環動態の評価が離床の安全管理に寄与した起立性低血圧の一例

○高田 勇 (加賀市医療センター リハビリテーションセンター)

NIA-4 インタラクティブ映像の視聴が運動時の脳血流、自覚的疲労感、運動意欲に及ぼす影響に関する検討

○水谷 文哉 (順天堂大学 保健医療学部理学療法学科)

NIA-5 肺高血圧症患者における肺血行動態と Distance Saturation Product の関連性

○伊藤 健太 (名古屋市立大学病院 リハビリテーション技術科)

抄録集 P57-P61

Best Clinical Cases : 12月14日(日)9:00 - 10:00 (第4会場:8F展示場)

座長:内山 寛(新東京病院)

審査員:内藤紘一(名古屋葵大学)、田屋 雅信(東京大学医学部附属病院)

阿部 隆宏(北海道医療大学)

BCC-1 多疾患併存を有する高齢循環器患者に対する多職種アプローチにより生活空間拡大に至った一症例

○井村 桜(神戸リハビリテーション病院 リハビリテーション部)

BCC-2 がん悪液質を呈したドキソルビシン心筋症患者に対する外来心臓リハビリテーションが奏功した一例

○大西 悠太朗(飯塚病院 リハビリテーション部)

BCC-3 閉塞性動脈硬化症に対し血行再建術と脊髄刺激装置植え込み術を施行した一症例
～運動療法の経過報告～

○増田 薫(TMG あさか医療センター リハビリテーション部)

BCC-4 予期不安により術後理学療法拒否を示した肥大型心筋症患者に対し、心肺運動負荷試験が動機づけとなった一例

○馬場 謙太(一宮西病院 リハビリテーション技術部)

BCC-5 両心補助人工心臓装着中に理学療法を導入し自宅退院となった1症例

○小澤 祐士(藤田医科大学病院 リハビリテーション部)

抄録集 P62-P66

ミライ Award : 12月13日(土) 16:00-17:00 (第3会場: 5F 小ホール2)

座長: 近藤 和夫 (日本医療大学)

審査員: 飯田 有輝 (愛知淑徳大学)、森沢 知之 (神戸リハビリテーション病院)

花田 智 (都城市郡医師会病院)

FA-1 外来心臓リハビリテーション患者に用いる下肢筋力および運動耐容能における臨床的最小有効変化量の算出

○小林 大地 (榎原記念病院 リハビリテーション科)

FA-2 CLTI患者に対する外科的血行再建術後のHADが2年後の生存率および切断回避生存率に及ぼす影響

○島添 裕史 (製鉄記念八幡病院 リハビリテーション部)

FA-3 僧帽弁閉鎖不全症に対するロボット支援下手術と胸骨正中切開下手術が入院関連機能障害に及ぼす影響の違い

○谷口 耕大 (大阪公立大学医学部附属病院 リハビリテーション部)

FA-4 Stanford A型急性大動脈解離患者におけるQOLの実態: 同年代人口基準との比較からの検討

○今村 直義 (北里大学 医療系研究科)

FA-5 心臓外科手術後患者における早期リハビリテーションの負荷量と退院後主要心血管イベントとの関連

○平川 功太郎 (榎原記念病院 リハビリテーション科)

抄録集 P67-P71

English Presentation Award : 12 月 14 日(日) 13:45 – 14:45 (第 3 会場 : 5F 小ホール 2)

Chair : Masakazu Saitoh (Juntendo University)

Judges : Shuhei Yamamoto (Shinshu University Hospital)

Takuji Adachi (Nagoya City University)

EPA-1 Echo Intensity of Gastrocnemius is an independent factor for Six-minute Walking Distance in Patients with Lower Extremity Artery Disease presenting with Intermittent Claudication.

○YUGUCHI SATOSHI (Department of Physical Therapy, Toyohashi SOZO University)

EPA-2 Comparative Analysis of Dynapenia, Sarcopenia, and Normal Muscle Function in Patients With Cardiovascular Disease

○OKANO KEISUKE (Rehabilitation, Seirei Hamamatsu Hospital)

EPA-3 Implementation and operation of high-intensity interval training in outpatient group cardiac rehabilitation: A report on activities in our hospital

○INOUE SHINTARO (Department of Rehabilitation, Aso Iizuka Hospital)

EPA-4 Characteristics of Non-Responders to Sedentary Behavior Reduction After Acute Myocardial Infarction: A Prospective Observational Study

○UTSUMI YUYA (Department of Rehabilitation, Tokushima Red Cross Hospital)

EPA-5 Association of left ventricular ejection fraction changes (HFimpEF) with physical function in heart failure

○FUKUTA YOSHITATSU (Department of Rehabilitation, Asahi University Hospital)

EPA-6 Characteristics of Patients with Improved Cognitive Function During Japanese Community Rehabilitation-Phase Cardiac Rehabilitation: A Single-Center Case Series Study

○MATSUKI RYOSUKE (Department of Rehabilitation, Kobe Rehabilitation Hospital)

Abstract P72-P77

Rising Star : 12月14日(日) 13:45 – 14:45 (第1会場: 大ホール)

(日本循環器理学療法学会 U40・ダイバーシティー委員会企画)

座長: 片野峻敏 (札幌医科大学附属病院)、中村みづき (関西福祉科学大学)

審査員: 角谷尚哉 (株式会社 Health Link)、天尾理恵 (東京大学医学部附属病院)

北垣和史 (四條畷学園大学)

RS-1 長時間座位行動とタイプD パーソナリティ、心理的要因の関連: 心臓リハビリテーション外来患者における検討

○近藤 美咲 (名古屋薬大学 医療科学部理学療法学科)

RS-2 TAVI 患者の術前後大腰筋体積変化率は長期予後の予測因子となる

○濱村 和恵 (近畿大学病院 リハビリテーション部)

RS-3 無床診療所／クリニックにおける外来心臓リハビリテーションの実態調査—全国webアンケート調査—

○赤澤 奈緒 (医療法人桃山会 小野内科医院 心臓リハビリテーション科)

RS-4 地域における出張心臓リハビリテーションの効果と今後の課題

○佐藤 志保 (一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院 心臓リハビリテーション室)

RS-5 成人先天性心疾患患者におけるスマートフォン測定による身体活動量と就労状況の関連

○池田 桃子 (北里大学大学院 医療系研究科)

抄録集 P78-P82

一般口述 1 (入院関連機能障害の評価と対策: 12月 13日(土) 9:10-10:10 (第3会場: 5F 小ホール 2)

座長: 天尾 理恵 (東京大学医学部附属病院)

OP-01 当院の心不全入院患者における HAD 発生要因の検討

○前口 大海 (総合大雄会病院 リハビリテーション科)

OP-02 急性期高齢心不全患者における座位時間増加の介入が入院関連機能障害の発生抑制に及ぼす影響

○南 竜馬 (地方独立行政法人明石市立市民病院 リハビリテーション課)

OP-03 心臓外科手術患者の術前サルコペニアは入院関連機能低下の予測因子である

○森川 夏香 (弘前大学医学部附属病院 医療技術部リハビリテーション部門)

OP-04 経カテーテル的大動脈弁留置術後の身体活動量と入院関連機能障害との関連性についての検討

○清水 将史 (大阪公立大学医学部附属病院 リハビリテーション部)

OP-05 集中治療室での高齢急性心不全患者における早期リハビリテーション低負荷量は退室時身体機能低下と関連する

○植木 寛道 (公益財団法人榊原記念財団附属榊原記念病院 リハビリテーション科)

OP-06 入院前 Clinical Frailty Scale における急性期高齢心不全患者の ADL 改善の予測能

○阿部 隼平 (地方独立行政法人市立秋田総合病院 リハビリテーション科)

抄録集 P83-P88

一般口述2（回復期・維持期の循環器理学療法）：12月13日(土)10:20-11:20（第3会場：5F小ホール2）

座長：大浦 啓輔（のぞみハートクリニック天王寺）

OP-07 回復期リハビリテーション病棟の高齢心不全患者に対する全身性炎症と日常生活活動の関連性

○前野 崇司（社会医療法人祐生会みどりヶ丘病院 リハビリテーション部）

OP-08 抑うつ・不安が外来心臓リハビリテーションにおける運動機能改善に及ぼす影響

○阪野 葵海（名古屋葵大学 医療科学部理学療法学科）

OP-09 集中治療室に勤務する療法士への回復期リハビリテーション病棟との施設間連携に対する実態調査

○伊藤 豪司（IMS(イムス)グループ イムス板橋リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

OP-10 追加治療を要した重症心不全患者に対する回復期病棟における循環器理学療法：在宅復帰を達成した一例

○松尾 知洋（西記念ポートアイランドリハビリテーション病院 リハビリテーション科）

OP-11 半日型通所介護施設における経時的な血圧変化：心不全Stage分類別による検証

○山下 真司（株式会社 ARCE 研究部）

OP-12 高齢心不全患者の退院後脆弱期における訪問リハビリによる身体機能、ADL、QOLの推移

○上坂 建太（公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 リハビリテーション科）

抄録集 P89-P94

一般口述3（予後予測を理学療法に活かす）：12月13日(土) 11:30-12:30（第3会場：
5F 小ホール2）

座長：柴田賢一（名古屋ハートセンター）

OP-13 下肢閉塞性動脈疾患者の血管内治療後における歩行速度と臨床転帰の関連性
○瀧野 翔哉（豊橋創造大学 保健医療学部 理学療法学科）

OP-14 心エコー指標と Barthel Index の併用は TAVI 患者における術後うっ血性心不全
発症の予測能を向上する

○松森 崇志（日本赤十字社鳥取赤十字病院 リハビリテーション課）

OP-15 急性心不全の予後予測に Hemoglobin-to-Red Cell Distribution Width Ratio は使
用できるか？

○中屋 雄太（市立宇和島病院 リハビリテーション科）

OP-16 心不全患者における安静時呼気ガスデータの予後予測能

○宮本 大道（秋田大学医学部附属病院 リハビリテーション部）

OP-17 高齢心不全患者における入院1週間後の SPPB に応じた退院時 FIM 運動項目と
関連する因子

○村上 涼（藤田医科大学岡崎医療センター リハビリテーション部）

OP-18 高齢心不全急性増悪患者における入院時の腎機能低下の重症度と退院後1年間の
予後との関連

○鬼頭 和也（国立病院機構静岡医療センター リハビリテーション科）

抄録集 P95-P100

一般口述4（臨床・教育工夫）：12月13日(土) 14:45-15:45（第3会場：5F 小ホール2）

座長：日下さと美（東京工科大学）

OP-19 大腿骨近位部骨折術後患者への理学療法介入時における循環動態評価の実態調査
○河村 知範（森ノ宮医療大学 総合リハビリテーション学部 理学療法学科）

OP-20 重症心不全により体外設置型補助人工心臓装着し、BTR経過となった患者に対する超急性期理学療法：症例報告

○高橋 宏幸（岩手県立中央病院 リハビリテーション技術科）

OP-21 クリニカルパス改定による心筋梗塞患者の外来心臓リハビリテーション参加率向上の試み

○飯沼 優（筑波メディカルセンター病院 リハビリテーション療法科）

OP-22 循環器領域を専門とする理学療法士の専門性形成に関する実態調査

○千葉 一幸（東北医科薬科大学病院 リハビリテーション部）

OP-23 4度もの穿孔部閉鎖術を乗り越え入院中に歩行獲得に至った急性心筋梗塞後心室中隔穿孔の一例

○藍澤 洋介（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 リハビリテーション科部）

OP-24 当院における経カテーテル肺動脈弁留置術症例に対する理学療法の現状と課題

○高梨 颯人（筑波大学附属病院 リハビリテーション部）

抄録集 P101-P106

一般口述 5 (骨格筋・栄養評価) : 12月14日(日)9:00-10:00 (第3会場:5F小ホール2)

座長:齊藤洋 (亀田総合病院)

OP-25 BIA法による骨格筋量標準化の試み:浮腫を伴う入院心不全症例の経時的変化を通じた検討

○関根 敏生 (社会医療法人財団新和会八千代病院 総合リハビリセンター)

OP-26 心臓リハビリテーションを実施した摂取エネルギー不足の心血管疾患患者における摂取量の変化についての検討

○永野 空河 (晃友相模原病院 リハビリテーション科)

OP-27 心疾患患者における6分間歩行距離の改善と骨格筋指標との関連

○浦野 勝太 (トヨタ記念病院 リハビリテーション科)

OP-28 心臓血管外科術後患者における退院後予後予測因子としての部位別細胞外水分比の有用性

○柴田 賢一 (名古屋ハートセンター リハビリテーション部)

OP-29 心血管疾患患者における立ち上がりテストによるダイナペニアの簡便なスクリーニング指標の有用性

○望月 優人 (NTT 東日本関東病院 リハビリテーション医療部)

OP-30 術前からダイナペニアを呈する心臓血管外科手術患者の特性

○西谷 健太郎 (旭川医科大学病院 リハビリテーション部)

抄録集 P107-P112

一般口述 6 (理学療法評価・介入) : 12月 14日(日) 11:30-12:30 (第3会場: 5F 小ホール 2)

座長: 横田 純一 (弘前大学)

OP-31 心不全患者に対する Barthel Index Dyspnea の有用性の検討

○河野 裕治 (藤田医科大学病院 リハビリテーション部)

OP-32 心不全患者における漸増運動中の骨格筋力が骨格筋酸素化動態に及ぼす影響 -多変量解析を用いた検討-

○山崎 太輝 (川崎市立多摩病院 リハビリテーション科)

OP-33 高齢循環器疾患患者における起立性低血圧及び起立性高血圧と身体的フレイル及び運動時の血圧応答との関連

○塩田 航平 (順天堂大学大学院 保健医療学研究科理学療法学専攻)

OP-34 人工呼吸器からの早期離脱が抜管後のラットの身体活動量に及ぼす影響

○新井 栄李 (北里大学大学院 医療系研究科)

OP-35 末梢磁気刺激が疼痛、自律神経活動、骨格筋の筋厚に与える影響に関する検討

○柏木 麻子 (順天堂大学 保健医療学部理学療法学科)

OP-36 高齢急性非代償性心不全患者の生きがい意識尺度の変化とその関連因子の検討

○牧野 彰宏 (北里大学メディカルセンター リハビリテーションセンター)

抄録集 P113-P118

一般口述 7 (身体活動量のモニタリング) : 12月14日(日) 15:00-16:00 (第3会場:5F
小ホール2)

座長: 清水美帆 (三重大学医学部附属病院)

OP-37 TAVI 後の歩行開始日と臨床転帰との関連および歩行遅延の要因

○寺西 司 (新東京病院 リハビリテーション室)

OP-38 心臓血管外科手術後における身体活動量が、退院時の運動耐容能に及ぼす影響

○田村 栄治 (大阪公立大学医学部附属病院 リハビリテーション部)

OP-39 高齢心不全患者における社会参加と3つのフレイル領域との関連

○鶴本 一寿 (公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 リハビリテーション科)

OP-40 心臓血管外科術後患者の運動能低下抑制に寄与する身体活動量の検討

○安達 恵人 (一般財団法人住友病院 リハビリテーション科)

OP-41 集中治療後症候群を呈した循環器疾患患者に対する日記を用いた介入

○伊藤 拓哉 (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 リハビリテーション科)

OP-42 集中治療管理中に不穏状態を合併した心血管疾患患者に対する入院期理学療法後の身体機能変化

○添田 修平 (北里大学大学院 医療系研究科)

抄録集 P119-P124

ポスター1（心不全1）：12月13日(土) 9:10-10:10 (第5会場：8F 展示場)
座長：鬼頭 和也（国立病院機構静岡医療センター）

PP-01 自宅から入院となった高齢心不全患者における栄養状態が在院日数に与える影響
○天野 広大（菊川市立総合病院 リハビリテーション科）

PP-02 急性期高齢心不全患者の入院関連能力障害と基本チェックリスト下位項目の関連
○木村 祐紀（川崎市立川崎病院 リハビリテーション科）

PP-03 入院期高齢心不全患者に対する上肢レジスタンストレーニングの有効性
○猪熊 正美（群馬県立心臓血管センター リハビリテーション課）

PP-04 フレイル重症度別にみた心不全高齢患者のリハビリ量と CFS 悪化の関係
○山崎 一史（菊川市立総合病院 リハビリテーション科）

PP-05 低身体機能を呈する高齢心不全患者の身体機能改善に関する機能特性の検討
○田村 俊太郎（太田医療技術専門学校 理学療法学科）

PP-06 強心薬静注下で自宅退院を希望された終末期心不全患者に対し ADL 維持と思いの聞き手として支援した一例
○深川 理生（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 リハビリテーション科部）

PP-07 高齢心不全患者のフレイル判定における基本チェックリストの妥当性の検証
○福留 拓馬（藤田医科大学病院 リハビリテーション部）

PP-08 心不全の入院要因による退院時身体機能の関係
○宮嶋 大貴（信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部）

抄録集 P125-P132

ポスター2（回復期・維持期1）：12月13日(土)9:10-10:10（第5会場：8F展示場）
座長：松尾 知洋（西記念ポートアイランドリハビリテーション病院）

PP-09 SGLT2 阻害薬が外来心臓リハビリテーション患者の骨格筋に及ぼす影響
○濱嶋 由衣（名古屋葵大学 医療科学部理学療法学科）

PP-10 非急性期病院外来における TAVI 術後心臓リハビリテーションの一考察
○川崎 健作（社会医療法人愛仁会 尼崎だいもつ病院 リハ技術部 理学療法科）

PP-11 演題取り下げ

PP-12 低身体活動の外来心臓リハビリテーション患者における臨床的特徴
○藤本 昂司（愛仁会リハビリテーション病院 理学療法科）

PP-13 心疾患患者における外来循環器理学療法が Phase angle の変化に及ぼす影響と関連因子の検討
○石黒 博也（知多半島総合医療センター リハビリテーション技術科）

PP-14 外来心臓リハビリテーション患者における心不全知識評価と臨床指標の関連
○川上 裕貴（倉敷中央病院 リハビリテーション部）

PP-15 ダイナペニアと診断された心不全患者に対して理学療法が有効であった一症例
○岡野 圭祐（聖隸浜松病院 リハビリテーション部）

抄録集 P133-P139

ポスター3（心臓血管外科術後1）：12月13日(土)10:20-11:20（第5会場：8F展示場）

座長：河村 知範（森ノ宮医療大学）

PP-16 CABG 後の維持血液透析患者に対する神経筋電気刺激と床上エルゴメーターの併用が機能低下予防に寄与した1例

○桐生 恵太（釧路孝仁会記念病院 リハビリテーション部）

PP-17 胸骨正中切開術後に右握力低下を呈し、腕神経叢障害が疑われた一症例

○清水 新吾（関西労災病院 中央リハビリテーション部）

PP-18 超高齢心臓外科術後患者の術後6か月の再入院に歩行開始日が影響する

○竹本 潤季（社会医療法人敬和会 大分岡病院 リハビリテーション部）

PP-19 冠動脈バイパス術後患者の在院日数に影響を及ぼす因子の検討

○石井 寛海（社会医療法人 敬和会 大分岡病院 リハビリテーション部）

PP-20 待機的弁膜症術後患者の術後心房細動の出現と再入院の関連性

○原田 俊吾（社会医療法人 敬和会 大分岡病院 リハビリテーション部）

PP-21 心臓外科手術後患者の6分間歩行距離に身体機能が与える影響

○山本 将大（愛知医科大学病院 リハビリテーション部）

PP-22 心臓外科手術患者に用いるフレイル指標の特性の検証

○伊東 修一（旭川医科大学病院 リハビリテーション部）

抄録集 P140-P146

ポスター4（運営・連携）：12月13日(土) 10:20-11:20 (第5会場：8F展示場)
座長：中島 真治（日本福祉大学）

PP-23 大阪循環器理学療法ネットワーク「Osaka CNET」の発足および活動について
○北垣 和史（大阪循環器理学療法ネットワーク Osaka CNET）

PP-24 音楽療法と運動療法の併用が循環器疾患患者に与える影響－心理・生理的アウトカムに関する文献的検討－
○三浦 美佐（国立大学法人 筑波技術大学 保健科学部理学療法学専攻）

PP-25 外来心臓リハビリテーション患者における運動療法の実施状況と身体的特徴
○氏内 康友（愛仁会リハビリテーション病院 理学療法科）

PP-26 生活習慣病に対してメディカルフィットネスでの多職種介入を実施した一症例
○藏之内 琉南（ふじみ野心臓リハビリテーションクリニック 循環器内科）

PP-27 TASS-Rによる評価を用いた心リハチームにおける多職種会議の改善とその効果の検討
○岩佐 精志（天理よろづ相談所病院 リハビリテーション部）

PP-28 当院循環器理学療法における施設間連携の現状と対策～CABG周術期患者の転院症例を通して～
○中武 仁士（社会医療法人 弘潤会 大同病院 リハビリテーション科）

PP-29 回復期心疾患患者の運動機能の改善は医療費削減に関連する
○山本 周平（信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部）

抄録集 P147-P153

ポスター5 (ICU 領域) : 12月13日(土) 11:30-12:30 (第5会場:8F 展示場)
座長:下雅意 崇亭 (神戸市立医療センター中央市民病院)

PP-30 心臓血管外科手術後の術後1日目の離床を阻害した要因の検討:出血傾向におけるドレーン排液量の臨床的意義

○磯邊 崇 (昭和医科大学 保健医療学部リハビリテーション学科)

PP-31 全身麻酔導入中にアナフィラキシーショックによる心停止を来し,長期集中治療後ADL改善に難渋した一例

○北林 栄里 (大阪労災病院 中央リハビリテーション部)

PP-32 ICU 病棟専従 PT の併用が開心術後患者の早期離床およびせん妄発症に与える影響

○加藤 昂 (筑波メディカルセンター病院 リハビリテーション療法科)

PP-33 ICU-AW に対して低負荷高頻度の介入が有効であった心室中隔穿孔を合併した急性心筋梗塞の1例

○水野 拓 (一宮市立市民病院 リハビリテーション室)

PP-34 内視鏡下心房細動術後、人工呼吸器管理下での歩行練習継続により、人工呼吸器離脱に繋がった経験

○宮崎 真泰 (医療法人徳洲会 千葉西総合病院 リハビリテーション室)

PP-35 IMPELLA 装着中の離床から心不全再入院予防まで—急性期から維持期における包括的アプローチ

○古田 宏 (医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院 リハビリテーション科)

PP-36 腹部大動脈瘤手術後に理学療法と看護の連携により再挿管が回避できた1症例

○古田 宏 (医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院 リハビリテーション科)

抄録集 P154-P160

ポスター6（回復期・維持期2）：12月13日(土) 11:30-12:30 (第5会場：8F展示場)
座長：山本智史（イムス板橋リハビリテーション病院）

PP-37 高齢心不全患者の筋力の年代別や性別に関する実態調査
○村瀬蘭奈（藤田医科大学病院リハビリテーション部）

PP-38 運動時に内頸静脈怒張を呈した収縮性心膜炎術後症例の臨床経過：内頸静脈怒張と息切れを指標とした運動療法
○樋原勇人（晃悠会むさしの救急病院リハビリテーション科）

PP-39 生活空間の拡大により身体・精神機能に改善が認められた高齢心不全患者の一例
○山賀亘（名古屋市立大学病院リハビリテーション技術科）

PP-40 献腎移植術後の生活不安に対して、透析期および術後維持期からのリハビリ介入が有効であった一症例
○石田昂彬（神應透析クリニックリハビリテーションセンター）

PP-41 外来心臓リハビリテーション患者の身体活動量と身体機能との関係
○山口恭人（医療法人みらいみらいリハビリテーション病院リハビリテーション部）

PP-42 心臓外科開胸術を受けたプレフレイル・フレイル患者における術後の歩行進捗と運動機能低下との関連
○横手翼（麻生飯塚病院リハビリテーション部）

抄録集 P161-P166

ポスター7（基礎・トレーニング様式）：12月13日(土) 14:45-15:45（第5会場：8F 展示場）

座長：猪熊 正美（群馬県立心臓血管センター）

PP-43 在宅循環器疾患患者における年代別・性別の骨格筋関連指標の比較

○羽野 朱梨（名古屋葵大学 医療科学部理学療法学科）

PP-44 経カテーテル大動脈弁留置術患者の末梢骨格筋への酸素供給評価による治療効果判定や反応性予測への試み

○田中 康友（長崎大学病院 リハビリテーション部）

PP-45 FITT-VPに基づく運動処方を参考にして運動療法を実施した、成人発症スチル病の一症例

○宮上 卓也（中津川市民病院 リハビリテーション技術科）

PP-46 高強度インターバルトレーニングで見えた運動療法の新たな可能性を示した一症例

○吉村 祐哉（大津赤十字病院 リハビリテーション科）

PP-47 観察による外的基準を用いた Recovery Phase の基準関連妥当性の検討

○高橋 裕介（秋田大学医学部附属病院 リハビリテーション部）

PP-48 健常高齢者の横隔膜機能と四肢骨格筋量との関連

○田代 尚範（昭和医科大学 保健医療学部）

PP-49 高頻度短時間の高強度インターバルトレーニングが著効した一例

○大神 汎一（株式会社麻生飯塚病院 リハビリテーション部）

抄録集 P167-P173

ポスター8（地域・在宅）：12月13日(土) 14:45-15:45（第5会場：8F展示場）
座長：上坂 建太（北野病院）

PP-50 入院関連機能障害を呈した高齢心不全患者における訪問心臓リハビリテーションの効果

○小林 琢（医療法人社団健心会 みなみ野循環器病院 リハビリテーション科）

PP-51 エルゴメーターによる在宅運動の効果-有酸素運動の違いによる PeakVO2 改善への影響-

○青谷 亮輔（大津赤十字病院 リハビリテーション科部）

PP-52 高血圧者と正常血圧者での体操 3か月間の効果の相違

○田中 みどり（姫路獨協大学 医療保健学部）

PP-53 超高齢慢性心不全患者に対する訪問リハビリテーションの有効性:90歳女性の参加活動再獲得を目指した症例

○東 利紀（金城大学 医療健康学部）

PP-54 高齢の心臓連蔵弁膜症の一症例における身体機能向上と LSA の関連の考察

○高須 大和（晃悠会 むさしの救急病院 リハビリテーション科）

PP-55 地域包括ケア病棟における高齢心血管疾患患者の自宅退院の予測因子についての検討

○市川 蒼海（多摩川病院 リハビリテーション部）

抄録集 P174-P179

ポスター9（心不全2）：12月14日(日) 9:00-10:00（第5会場：8F展示場）
座長：北垣 和史（四條畷学園大学）

PP-56 高齢心不全患者におけるサルコペニアの身体機能項目に関する実態調査
○大橋 美香（藤田医科大学病院 リハビリテーション部）

PP-57 高齢心不全患者の歩行速度には前頭葉機能が関連する
○小林 直樹（湘南藤沢徳洲会病院 リハビリテーション室）

PP-58 退院時心不全患者の自覚的体力維持に影響する因子の検討
○鈴木 啓司（所沢ハートセンター リハビリテーション科）

PP-59 高齢心不全患者の自宅退院に関する理学療法評価:後方視観察研究
○橋本 青衣（総合東京病院 リハビリテーション科）

PP-60 心不全患者におけるSGLT2阻害薬内服の有無と生命予後の関連性に対する身体機能の影響
○月城 一志（下関市立市民病院 リハビリテーション部）

PP-61 呼吸筋力低下を呈した左室駆出率の保たれた心不全患者における臨床所見と運動耐容能について
○田邊 剛史（岐阜ハートセンター 心臓リハビリテーション室）

PP-62 動きたい子どもと動けない心臓:拘束型心筋症児への運動介入のバランスを探る
○古田 雅拓（筑波大学附属病院 リハビリテーション部）

抄録集 P180-P186

ポスター10（合併症）：12月14日(日) 9:00-10:00 (第5会場：8F展示場)
座長：尾倉朝美（三田市民病院）

PP-63 心不全合併脳卒中患者に対するハートラウンド実施について～1症例の報告～
○小林実希（脳神経センター大田記念病院リハビリテーション課）

PP-64 甲状腺機能低下と転倒傾向の関連が疑われたフレイル合併高齢心不全の1例
○山下豊（名古屋市立大学病院リハビリテーション部）

PP-65 multimorbidityな心不全患者に対して、オーダーメイドに理学療法を実践し身体機能が維持改善した一症例
○永富綾（飯塚病院リハビリテーション部）

PP-66 胆がんを有した慢性心不全患者の趣味活動再開支援に向けた理学療法介入の一例
○今永匠（社会医療法人天神会新古賀病院リハビリテーション課）

PP-67 心臓原発びまん性大細胞型B細胞リンパ腫に対する化学療法中の理学療法の経験：症例報告
○大田真菜実（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院リハビリテーション科部）

PP-68 高齢心不全患者における慢性疾患併存と身体機能が全死亡リスクに及ぼす影響
○水野博彰（下関市立市民病院リハビリテーション部）

PP-69 演題取り下げ

抄録集 P187-P193

ポスター11（虚血性心疾患）：12月14日(日) 10:15-11:15（第5会場：8F展示場）
座長：笠原 西介（聖マリアンナ医科大学病院）

PP-70 包括的高度慢性下肢虚血に対する血行再建術後に急性期理学療法を実施した一症例
○小宮 直起（医療法人社団 誠馨会 千葉中央メディカルセンター リハビリテーション課）

PP-71 冠動脈疾患患者における認知的フレイルが心不全入院と生命予後に与える影響
○石原 広大（甲南女子大学 看護リハビリテーション学部理学療法学科）

PP-72 当院心筋梗塞パスにおける入院中の活動量の経過を調査した1例
○社本 楓佳（社会医療法人宏潤会大同病院 リハビリテーション科）

PP-73 外来循環器理学療法の継続が高齢心筋梗塞患者の運動耐容能および行動変容を改善した一症例

○加藤 大雅（知多半島総合医療センター リハビリテーション技術科）

PP-74 急性冠症候群患者に対し、ウェアラブルデバイスを使用したオンラインサポートにて運動耐容能が向上した症例

○鈴木 大輔（一般財団法人脳疾患研究所附属総合南東北病院 リハビリテーション科）

PP-75 心停止蘇生後、重症合併症発症例に対して心臓リハビリテーションを行い、社会復帰を遂げた一症例

○祖慶 竜一郎（友愛医療センター リハビリテーション科）

PP-76 フレイルを呈する虚血性心筋症症例に対し術前より歩数計による身体活動管理が奏功し自宅退院へ繋がった一例

○渡邊 晨仁（太田西ノ内病院 総合リハビリテーションセンター 理学療法科）

抄録集 P194-P200

ポスター12（心不全3[症例]）：12月14日(日)10:15-11:15（第5会場：8F展示場）
座長：西村 真人（大阪ろうさい病院）

PP-77 若年拡張型心筋症患者に対し、精神機能の改善に難渋したが職場復帰まで至った症例

○金光 智史（市立奈良病院 リハビリテーション室）

PP-78 LOS 症状が遷延し ADL の改善に難渋した重症心不全に対する理学療法介入の工夫
○鈴木 輝（トヨタ記念病院 リハビリテーション科）

PP-79 サルコペニアを呈する ATTRwt 心サルコイドーシス症例へのウェラブルデバイス
を用いた心不全増悪予防の実践

○笹本 雄一朗（太田西ノ内病院 総合リハビリテーションセンター 理学療法科）

PP-80 運動時に低心拍出量症候群を生じた不整脈原性右室心筋症患者に対する有酸素運動
の工夫

○伊藤 剛（JA茨城厚生連総合病院 水戸協同病院 リハビリテーション部）

PP-81 若年性重症心不全に対して心リハプログラムが有効だった1症例

○小峰 侑真（聖隸横浜病院 リハビリテーション課）

PP-82 心室細動によるICD頻回作動後の重症心不全に対する理学療法経験

○大森 允（山形大学医学部附属病院 リハビリテーション部）

PP-83 高度房室ブロックを合併した重症高齢心不全に対する理学療法において、運動負荷
量調整に難渋した1症例

○中島 優香（市立伊丹病院 医療技術部）

PP-84 呼吸困難感を有した高齢男性の重症大動脈弁狭窄症患者に対して酸素療法と理学療
法を併用した一例

○若菜 理（新古賀病院 リハビリテーション課）

抄録集 P201-P208

ポスター13（心臓血管外科術後2）：12月14日(日) 13:45-14:45（第5会場：8F展示場）

座長：堀 健太郎（榎原記念病院）

PP-85 多疾患・重複障害合併冠動脈バイパス術後に在宅酸素となり運動耐容能向上とともに酸素離脱を達成した1例

○五月女 宗史（社会医療法人中山会宇都宮記念病院 リハビリテーション科）

PP-86 小脳梗塞発症後に低侵襲心臓手術による大動脈弁形成術を施行し、自宅退院した症例

○引間 万貴（医療法人社団 緑成会 横浜総合病院 リハビリテーション部）

PP-87 心臓血管外科患者における術前後のSPPBの維持には術前の身体機能よりも術後の離床状況が関連する

○吉田 流星（医療法人社団 誠馨会 新東京病院 リハビリテーション室）

PP-88 心大血管術後患者における術前フレイルと術後運動自己効力感の関連

○杉 吉郎（川崎医科大学附属病院 リハビリテーションセンター）

PP-89 Fontan再手術後に外来心リハの導入ができず心不全入院に至った一例

○大西 順子（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 リハビリテーション科）

PP-90 呼吸器疾患を併存した高齢心大血管術後患者に対して、呼吸器疾患特有のADL評価尺度を用いた一症例

○宍田 凌空（医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院 リハビリテーション技術科）

PP-91 心臓血管外科術後患者における早期歩行が術後経過に及ぼす効果

○佐藤 明（社会医療法人敬和会大分岡病院 リハビリテーション部）

抄録集 P209-P215

ポスター14（回復期・維持期3）：12月14日(日)13:45-14:45（第5会場：8F展示場）

座長：金島 侑司（神戸市立医療センター中央市民病院）

PP-92 地域包括ケア病棟における心疾患患者に対するリハビリテーションの課題

○林 大二郎（医療法人社団 大和会 多摩川病院 リハビリテーション部）

PP-93 心臓血管外科術後に当院で急性期・回復期・外来心臓リハビリを行った一症例～運動耐容能の改善を目指して～

○松本 大夢（医療法人徳洲会 千葉西総合病院 リハビリテーション室）

PP-94 回復期病院における循環器理学療法を受けた患者の臨床的特徴と身体機能の経時的变化

○杉山 智哉（医療法人社団アールアンドオー 静清リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

PP-95 回復期病棟での追加治療の有無による心臓リハビリテーション効果の違いについて

○岡田 瑞花（IMS グループ イムス板橋リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

PP-96 回復期リハビリテーション病棟の心疾患患者における入院時の栄養状態と循環器理学療法への影響

○野海 隆一（医療法人社団 R&O 静清リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

PP-97 回復期リハビリテーション病院に入院した心疾患患者の自宅退院に関連する因子の検討

○横溝 日和（IMS<イムス>グループ イムス板橋リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

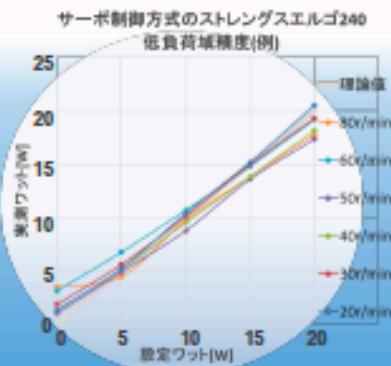
PP-98 心不全を合併した超高齢骨折患者への包括的アプローチ～回復期病棟における栄養スクリーニングの重要性～

○太田 友幸（山梨勤労者医療協会巨摩共立病院 リハビリテーション室）

抄録集 P216-P222

StrengthErgo®

お使いのエルゴメータの
負荷は **正確**ですか？



サーボ制御技術により
1ワット単位で
低負荷領域から
回転数に依存しない
高精度な負荷制御を実現

StrengthErgo240Plus

BK-ERG-003

- この1台でトレーニングから測定・評価まで可能
- 随意的に自力運動ができるニューロアシスト機能
- 脊髄でのモータニューロンの再学習応用

搭載機能： 0W負荷制御 / アシスト制御 / フルフラットシート / 筋力測定機能 … 等



StrengthErgo8 V2 -正確な心肺運動負荷試験(CPX)に-

BK-ERG-121

- 自動較正(動的キャリブレーション)により、経年変化による負荷のズレを調整
- 50～600ワットまで正確な負荷で運動

搭載機能： 0W負荷制御 / アシスト制御 / 逆回転負荷 / 電動サドル … 等

StrengthErgo5

-低体力者の正確な運動療法に-

BK-ERG-051

BK-ERG-151

- 単独で心拍数、血圧監視が可能
- 4つの運動モード
(定ワット、定トルク、等速度、定心拍) を搭載

搭載機能： 自動較正(動的キャリブレーション) / 脈拍センサー … 等



[お問合せ先]

三菱電機エンジニアリング(株)名古屋事業所
〒486-0906 愛知県春日井市下屋敷町下屋敷139
TEL:0568-36-2096
mail:mee.mei.mkt_ergo@mp.mee.co.jp

StrengthErgo
Website



三菱電機エンジニアリング株式会社

「快適さのために、笑顔のために」

病気や事故により失われた部分の機能を補う

「義肢」

体(体幹・上肢・下肢)のケガの治療や機能障害の軽減を目的とする

「装具」

義手・義足・装具・コルセット・車いす・リハビリ用品・自助具・介護用品・福祉用具レンタル
おしゃれステッキ・コンフォートシューズ・オーダーメイド枕・バリアフリー・住宅設計 / 改修

私たちは、お客様の快適のために、そして笑顔のために利用する人の身になって
妥協しない姿勢でモノづくりに取り組んでいます。

本来あるべき状態への回復を目的にさまざまな障害を克服するお役に立ち、
広く医療と社会福祉に貢献している会社です。



株式会社松本義肢製作所

しあわせをかたちにする人と技術の会社です

本 社 〒485-8555 愛知県小牧市大字林210番地の3
tel (0568) 47-1701(代) fax (0568) 47-1702

営業時間 月～土：午前8時30分～午後5時 定休日：日・祝
～名古屋営業所・静岡営業所・長野営業所～

info@pomgs.co.jp <http://www.pomgs.co.jp>

OMRON

オムロン 活動量計
Active style Pro
HJA-750C

オムロン独自のアルゴリズムで
歩行と生活活動を識別し METs を算出



オムロン ナトカリ計 HEU-001F
尿中の Na/K 比（ナトカリ比）を測定

高血圧を予防する減塩・カリウム摂取の
客観評価と動機付けのための簡便なツール

オムロンヘルスケア株式会社 〒617-0002 京都府向日市寺戸町九ノ坪53番地 ホームページ <http://www.healthcare.omron.co.jp/>

ALCARE

つなぐ手あて、ひらくケア。

G-TES[®]

General Therapeutic Electrical Stimulator

ジー・テス



医療機器認証番号: 226AGBZX00036000

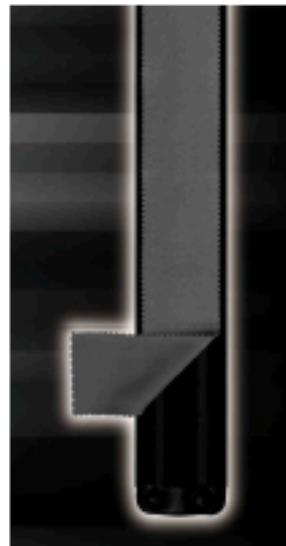
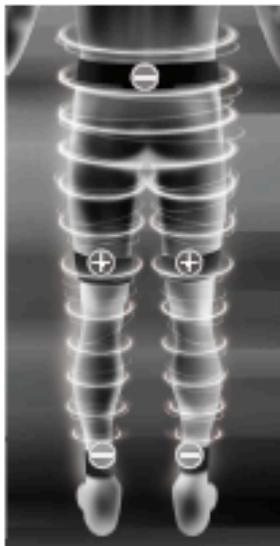
下肢全ての筋肉を動かし運動代用を行うB-SES

B-SES

Belt electrode •
Skeletal muscle
Electrical
Stimulation

ベルト電極式骨格筋電気刺激法

B-SESは、内側すべてを電極にしたベルト電極を腰・膝・足首に巻き付け、電気を筋状に流すことで、下肢全体の筋収縮が得られます。
広範囲の筋肉を一気に動かし、筋力トレーニングや有酸素運動を行い、随意運動を代用することができます。



筋力トレーニングと有酸素運動を目的別に実施

筋トレモード

20Hzで筋肉を強縮させ強い筋収縮を行い、随意運動における筋力トレーニングを目的とした運動を行います。

代謝モード(有酸素運動)

4Hzで単収縮を繰り返し行い、随意運動における有酸素運動を目的とした運動を行います。

製造販売元  HOMER ION

販売元

アルケア株式会社

東京都墨田区錦糸1-2-1 アルのセントラル19階 〒130-0013
www.alcare.co.jp

お問い合わせ: コールセンター

フリーダイヤル **0120-770-863** 土・日・祝日有休
午前9:00~午後5:00



エンジョイ
ハイカロリー

クリミール300

いつもの栄養補給に新しい選択肢をプラス！！

当社栄養補助飲料で
エネルギー密度
(1ml当たり 2.4kcal)
No.1*

*2025年9月時点

エネルギー

MCT

カルニチン

3.0g

10 mg

300kcal

たんぱく質

食物繊維

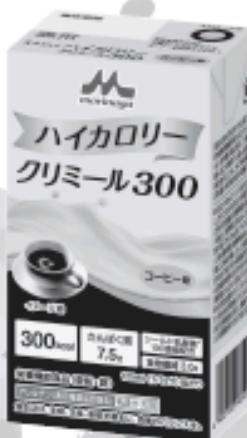
シールド乳酸菌

7.5g

3.0g

100 倍個配合

125ml(1パック)当たり



コーヒー味



バナナ味



コーンスープ味

他にもおいしく栄養が摂れる、豊富なラインアップがあります。

 森永乳業クリニック株式会社

 森永乳業クリニック
ホームページ

 YouTube
<森永乳業クリニック公式チャンネル>
森永乳業クリニック YouTube

準備から解析までこの1冊で確実に実施できる！

実臨床で 使えるCPX ポケットガイドブック

東海臨床CPX研究会の講義内容を
きゅっとコンパクトにまとめました！

総合青山病院 循環器内科部長 兼 心臓リハビリテーションセンター長

下郷 卓史 著

藤田医科大学病院 リハビリテーション部主任・理学療法士

河野 裕治 著

手のひらサイズで
携帯に便利！

検査に必要なことだけまとめた CPX 超入門

CPXは必須の検査で、その知識は重要である。本書は「CPXを臨床現場に活かす」をコンセプトに活動する東海臨床CPX研究会における講義の内容を中心にまとめた。検査室に常に置いておき検査時にいつも確認できる本当に実臨床で使える入門書である。

定価3,080円（本体+税10%） 新書判／160頁 ISBN978-4-8404-8839-6

メディカ出版
オンラインストア



www.medica.co.jp

MC メディカ出版

お客様センター ☎ 0120-276-115

本社 〒532-8588 大阪市淀川区宮原3-4-30 ニッセイ新大阪ビル16F